

# あべともこニュース

## 国連総会決議に従い、即時停戦を！

◆止めよ、無差別殺戮、停戦決議を。  
パレスチナガザ地区では国連安保理決議に則って、11月23日から27日までの四日間の休戦、その後二日の延長の中で支援物資の輸送や新生児の移動などが行われましたが、30日からは再びイスラエルは大規模な空爆に及び、夥しい非戦闘員の犠牲者が生まれています。

今回の戦闘が10月7日のハマスによるイスラエル攻撃と人質拉致に始まり、また従来から多くのパレスチナ人を拘束、刑務所に収容してきたイスラエル側との人質交換で一時休戦したものの、イスラエル側のハマス殲滅方針は変わらず学校、難民キャンプ、病院などを次々と標的にしたジェノサイドが再び始まりました。

10月27日に採択された国連総会決議に従って、休戦が停戦に続く事を、国際社会は何としてでも一日も早く実現しなくてはなりません。日本の国会でも停戦決議が上がるよう、全力で取り組むべきです。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）  
当選 8 回、東京大学医学部卒業、  
小児科医、あべともこ子ども  
クリニック（湘南台）理事長  
現在、厚生労働委員会  
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ  
公式X (旧Twitter)  
@abe\_tomoko

[https://twitter.com/abe\\_tomoko](https://twitter.com/abe_tomoko)



あべともこ  
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

◆何の為、誰のための補正予算か？  
11月29日、今年度補正予算が立憲民主党は反対したものの与党等の賛成多数で成立。総額1.3兆円に及び、7割以上が国債頼みの補正予算、おまけに総理の所得税の定額減税は来年六月以降！誰のための予算なのか…。  
加速する物価高、上がらない実質賃金、年金も実際には目減り、国民の多くが厳しい年末を迎え、特に母子家庭などの困窮は著しいといえます。  
国債増加で将来世代へのツケ、そして子ども子育てを支える財源にも社会保障料負担増、社会保障の削減…。  
国民の現在にも未来にも寄り添わない最悪の補正予算。『聞く』  
耳を持たない政府は一刻も退陣すべきです。

2023補正予算 (計13兆1272億)

物価高対策	21%
国内投資促進	10%
国土強靱化	26%
賃金対策	10%
社会変革・人口減少	33%

【金額】  
・物価高対策 2兆7363億円  
・賃金対策 1兆3303億円  
・国内投資促進 3兆円4375億円  
・社会変革等 1兆3403億円  
・国土強靱化 4兆2827億円

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集

核のごみの最終処分場選定の流れ

文献調査▶2年程度  
資料による調査  
知事、市町村長の意見  
交付金 最大20億円  
反対の場合は先へ進まず

概要調査▶4年程度  
ポーリングで岩盤や地質を調査  
知事、市町村長の意見  
最大70億円  
反対の場合は先へ進まず

精密調査▶14年程度  
地下施設で調査  
知事、市町村長の意見  
今後制度化  
反対の場合は先へ進まず

最終処分場の建設地決定  
出典：新潟日報 (2023/9/28)

◆原発回帰、核のゴミはどうするか  
11月30日、超党派「原発ゼロ・再エネ100の会」は、原発から出る使用済み核燃料の処分場選定プロセスについてヒアリングを行いました。  
三段階ある処分場選定プロセスは、文献調査が第一段階。北海道の寿都町と神恵内村では、2020年11月から開始され、年明けにはその結果が発表されると言われていますが、次の「概要調査」に進むかが注目されます。  
問題提起をされた大島堅一氏龍谷大学教授からは、「処分地としての受け入れを前提かのようなプロセスそのものが、民主主義的でなく、『対話・説明の場』をより充実すべき。」との指摘。  
2日には、アラブ首長国連邦で開催されているCOP28で、2050年迄に世界全体の原発の設備容量3倍を目指す宣言に、日本も賛同したと発表されました。原発回帰が世界に波及する一方、『ゴミ』は増え続け、安全性の担保も不透明！原発ゼロ！を早急に実現すべきです。